

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2)計画・設計から管理までの各段階における最適化 【1】計画・設計の見直し】

堤体盛立方法の見直し

工事名： 徳山ダム堤体建設工事

概要： コア盛りたての1層当りの仕上がり厚を20cmから30cmに見直すことにより施工速度を速め、工期短縮を行い、盛立コスト縮減を図る。

効果：

仕上がり厚の見直しにより、施工効率が向上

施工速度の向上により、盛立工程が短縮

盛立の工事費を4,970百万円から4,790百万円に縮減

(縮減額 180百万円、縮減率 約4%)

